

アレクサンドロフパズルの作り方

所要時間: 約1時間半

九州大学 理学部 数学科
竹永 耕大

準備するもの

材料

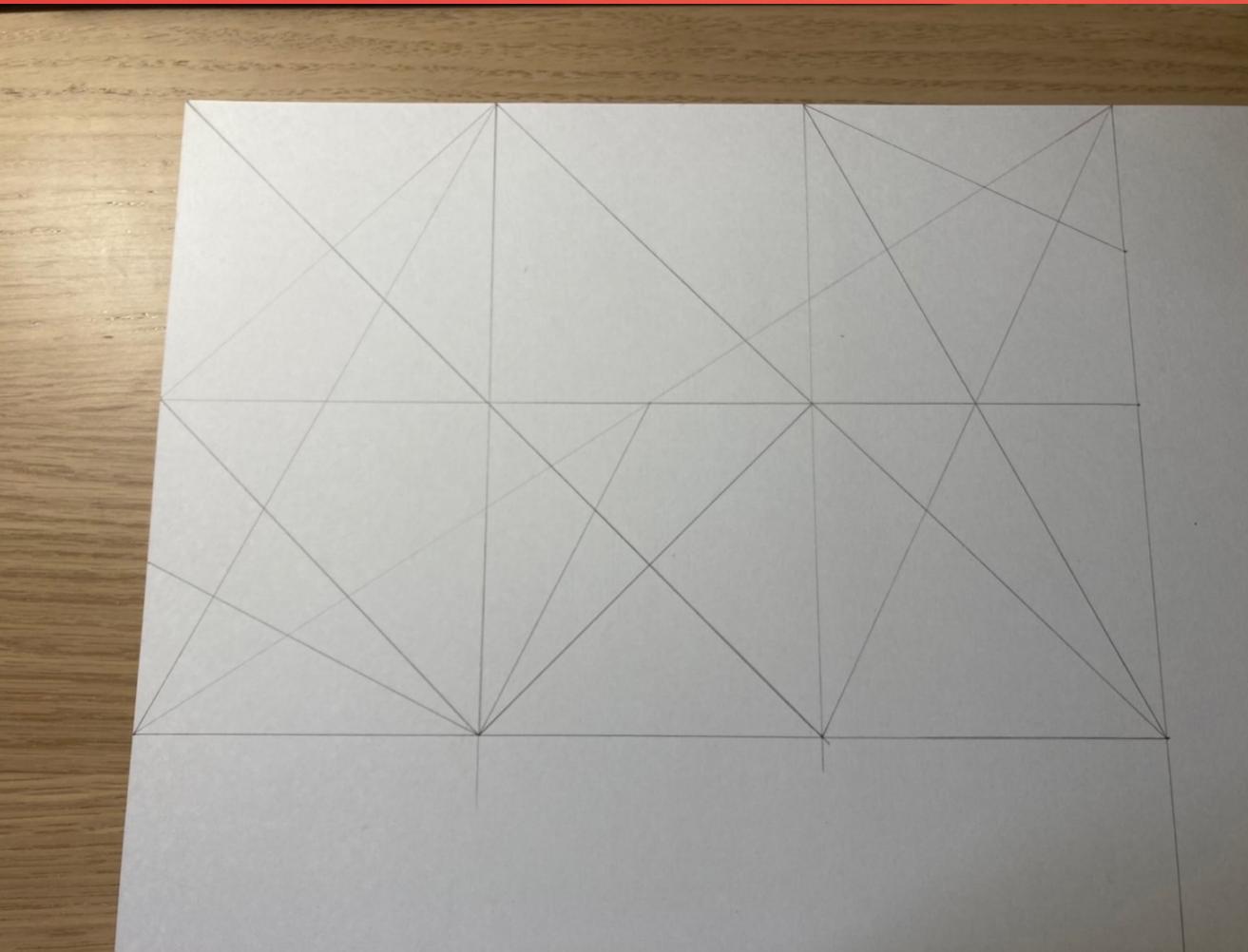
- ・ 厚紙(できる限り厚めのもの)
- ・ マスキングテープ
- ・ マジックテープ(背面がテープのもの)

道具

- ・ カッターナイフ
- ・ カッターマット
- ・ 定規(金属製)
- ・ ハサミ

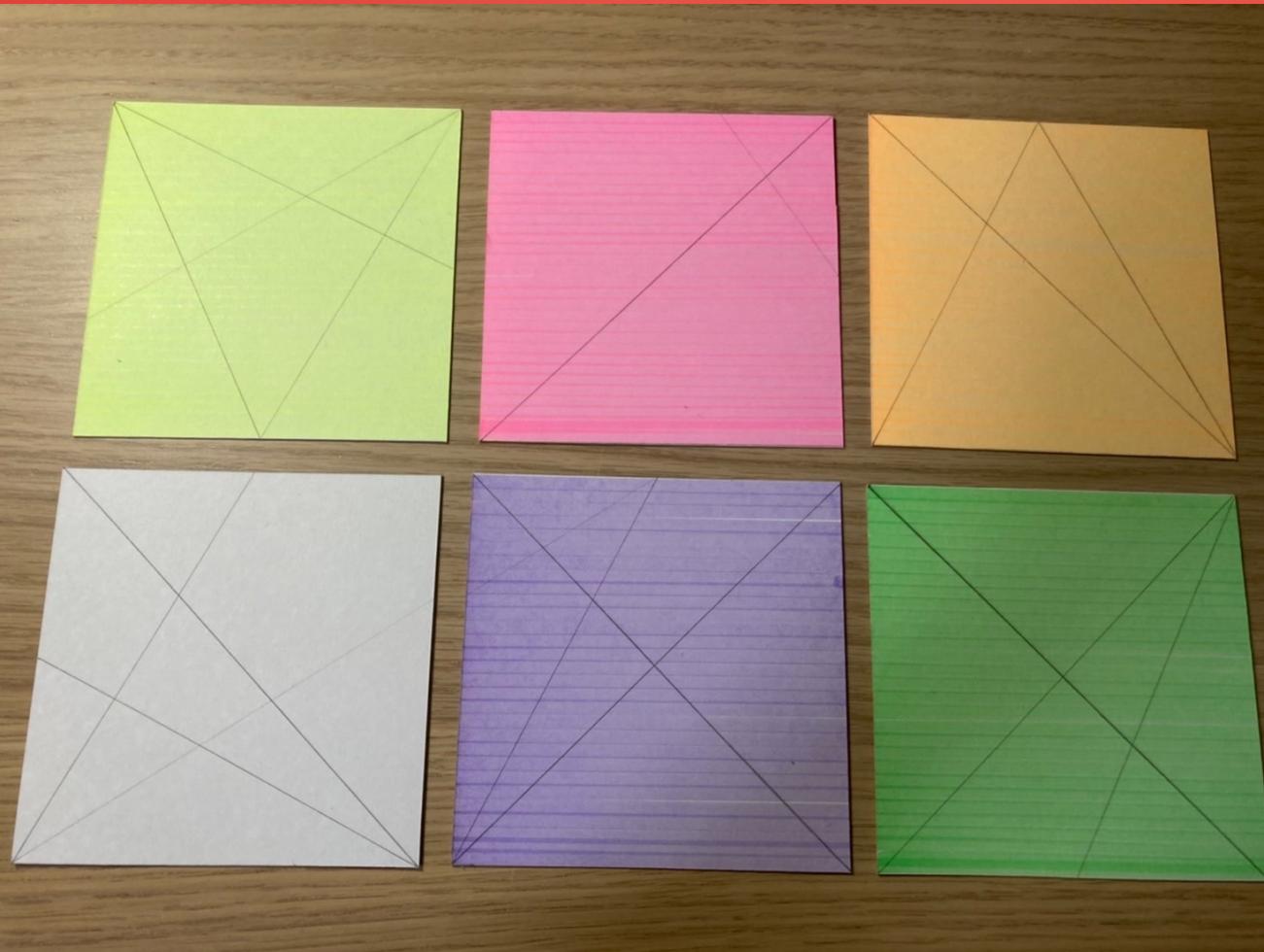


工程1：画用紙に切り線を描く



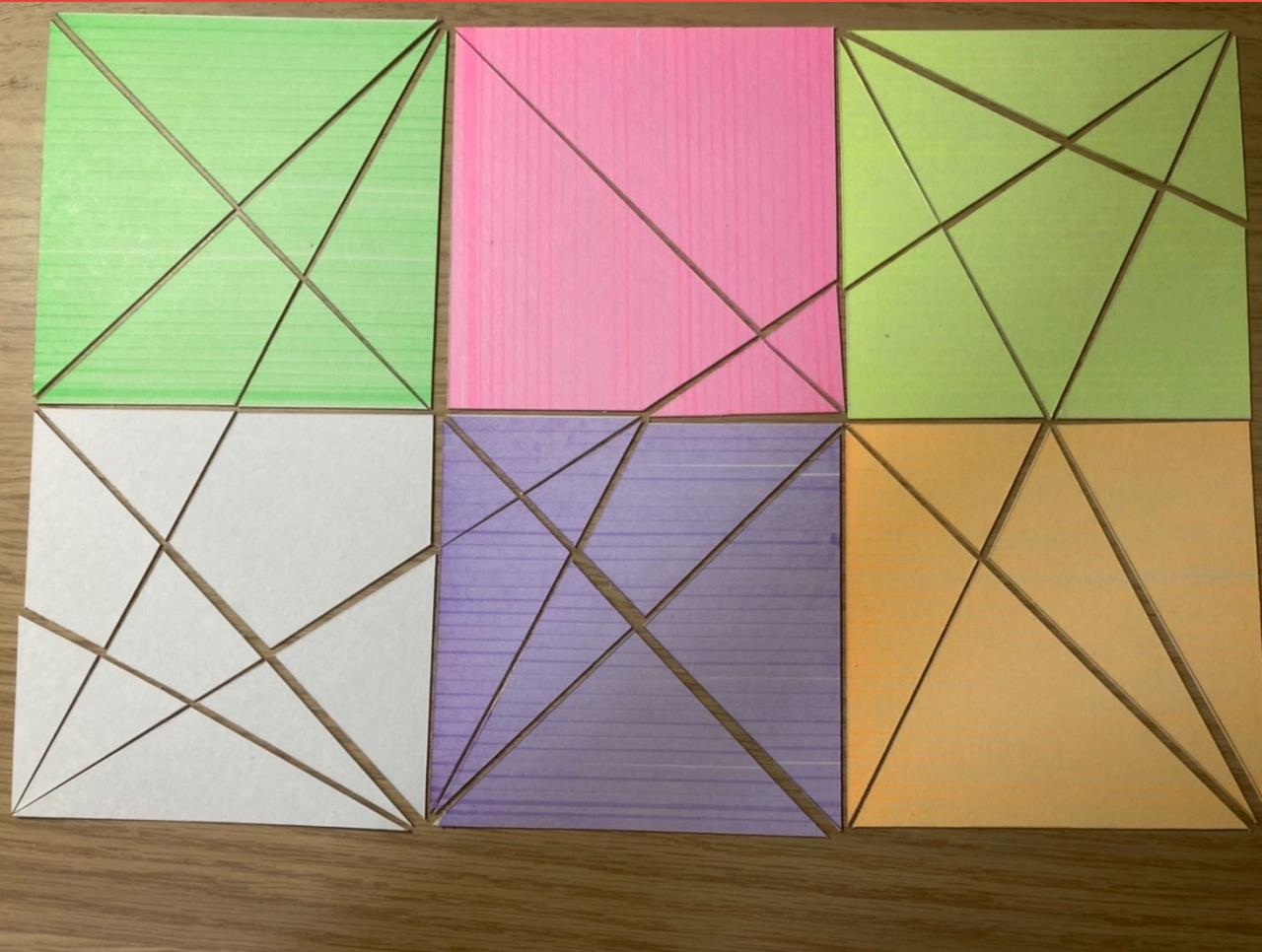
小さすぎたり大きすぎたりすると遊びにくい。
私は、各正方形を 10×10 で作成した。

工程2: 各立方体を切斷



この段階で色塗りをしておく方が
後々楽である。

工程3:各パーツを切断



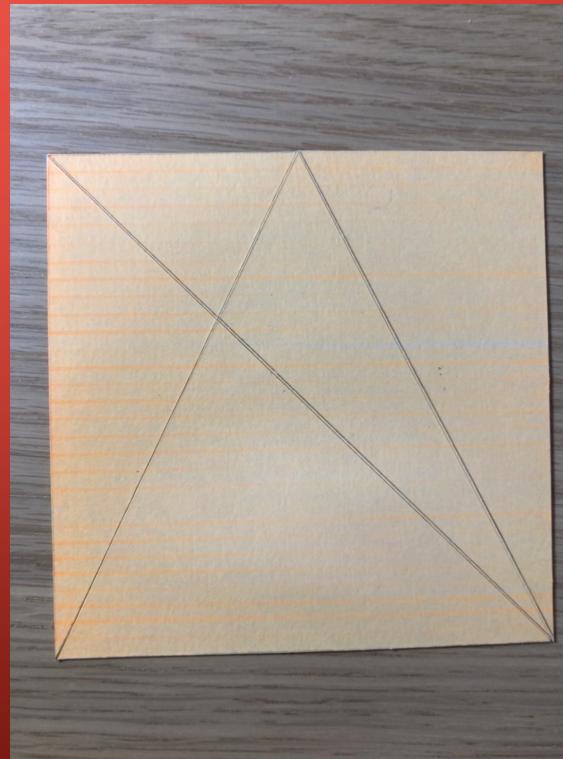
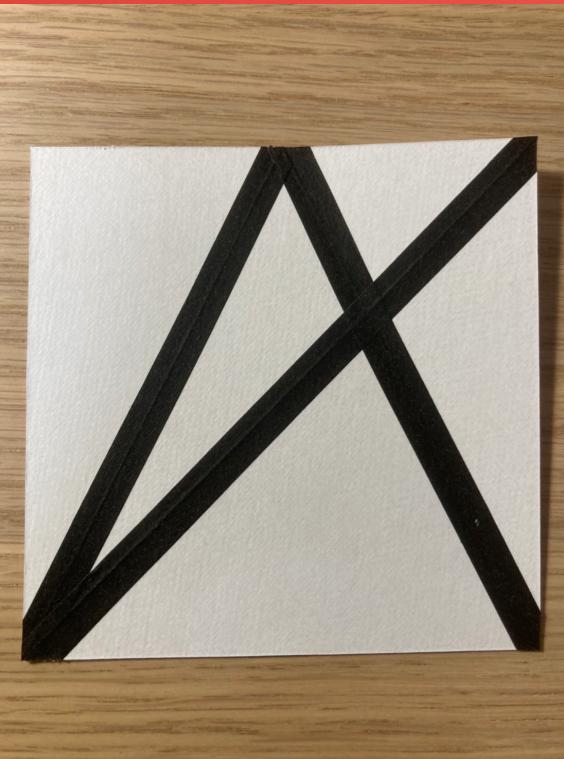
次のページの切断時のポイントに
気をつけながらパーツを切り分けていく

切斷時のポイント

- 一度で切断し切るのではなく、
浅い切り込みを入れることを繰り返していき切り離すといい。
- 各正方形内で1ピースごとではなく、上記作業を全体に対して行えば、
接着の際に折り目が合わなくなることがない。

工程4:接着作業

まず初めに裏面を接着し、6個の正方形を再形成する。



工程4:接着作業

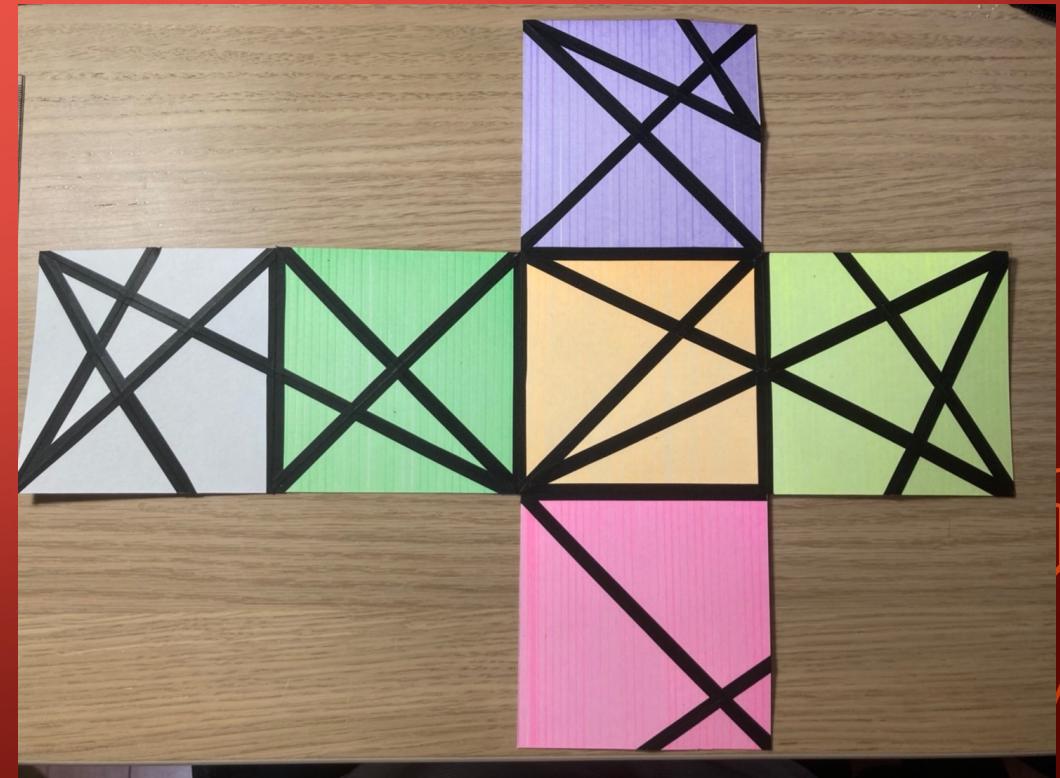
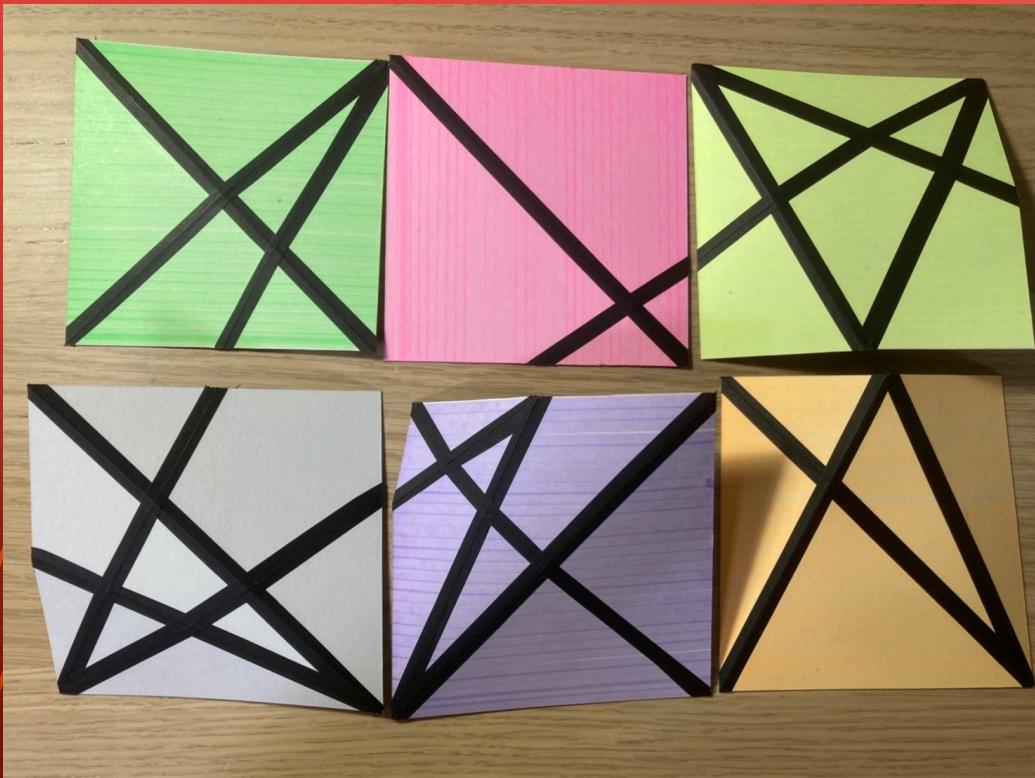
表面の接着は、折り目を負った状態でテープを貼り、
テープを画用紙の間に入れ込むことで、片側方面のみへの
折り曲げを可能としている。

折り目が交差する場所は表面のテープのみに切り込みを入れる。



工程4:接着作業

正方形が6つ完成したら、ラテンクロスを形成する。
接着方法はこれまで同様。

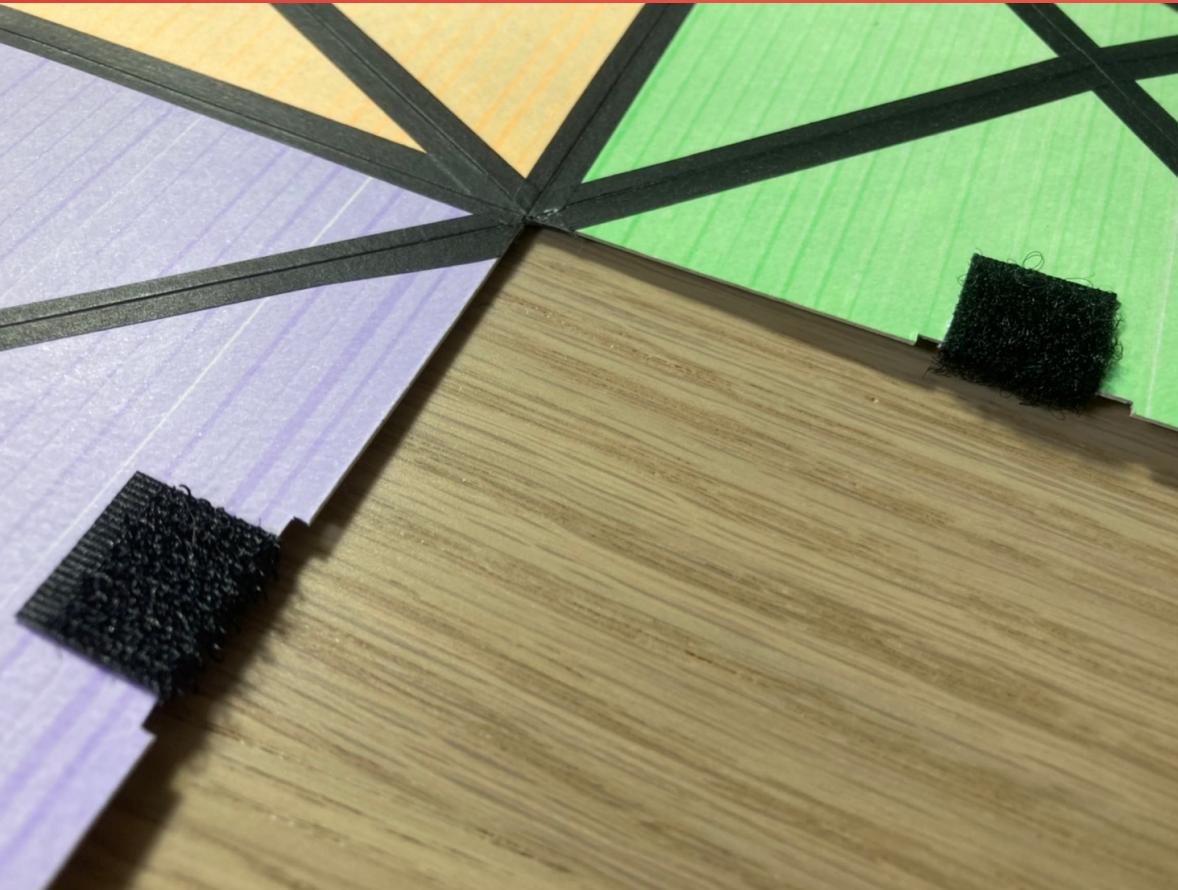


工程5：マジックテープの貼り付け



辺に直接マジックテープを貼ると、
マジックテープの厚みにより多面体が
折りにくい状態が発生してしまうので、
幅2cm, 深さ1mmほどの切り込みを
入れておくと良い。

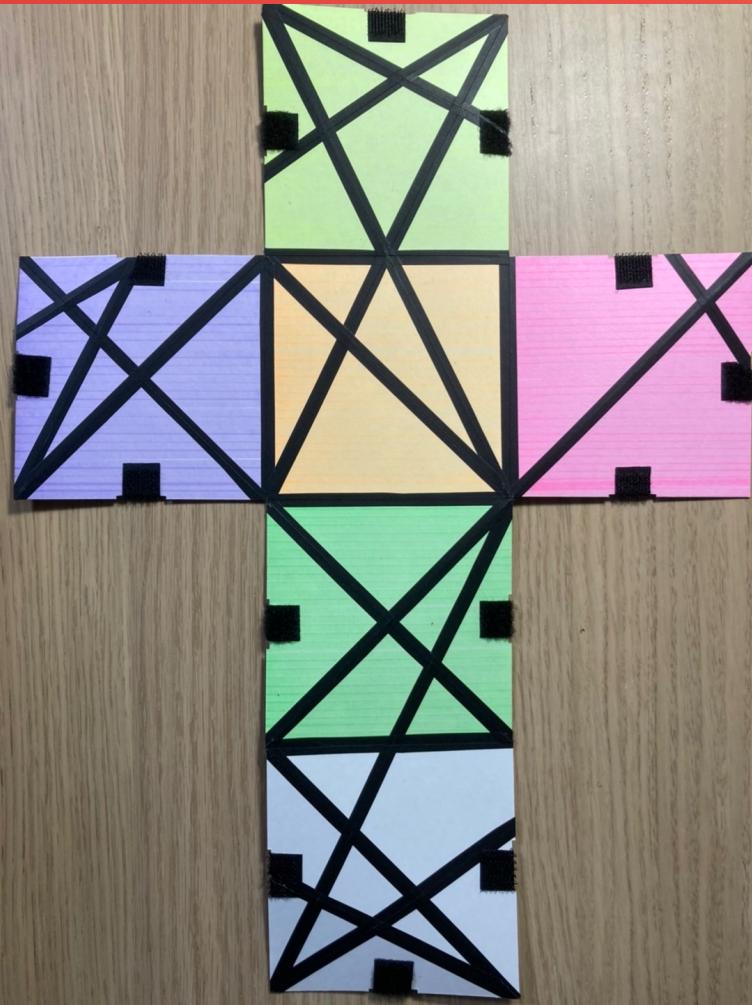
工程5：マジックテープの貼り付け



折り線とテープの接着面が
交差している部分に関しては
テープをうまく切断するなどして
調整してあげる必要がある。

ちなみにマジックテープの
硬い面と柔らかい面は交互に
接着してあげれば良い。

工程6: 完成



これで完成。
遊ぶ際には誤ってマジックテープ面でない部分を
引き離そうとしないように。